

2019 年度 FD 活動報告書



洗足学園音楽大学

目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD 研修会	4
各コースの FD 活動の記録	5
シラバスチェック	10
学修行動調査	14
授業に関するアンケート	15
卒業時満足度調査	17
FD 委員会規程	19
大学院 FD 委員会規程	20
資料 1 : 学修行動調査結果	21
資料 2 : 授業に関するアンケート結果	28
資料 3 : 卒業時満足度調査結果	37

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2019 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、合同で実施した。

第 1 回 2019 年 5 月 23 日（木） 10：00～11：00

報告事項：①年間スケジュール

②2018 年度授業評価アンケート結果報告

③2018 年度卒業時満足度調査結果報告

④2018 年度臨時シラバスチェック結果報告

審議事項：①2019 年度授業に関するアンケート実施要領

②FD 研修会・FD 講演会テーマ（案）

第 2 回 2019 年 7 月 25 日（木） 10：00～11：00

報告事項：①2019 年度楽典実力試験・ソルフェージュ I クラス分け試験結果報告

②学外 FD 情報

審議事項：①2019 年度学修行動調査実施要領

②FD 研修会企画

第 3 回 2019 年 9 月 5 日（木） 11：00～12：00

審議事項：①卒業時満足度調査実施要領（2020 年 3 月卒業者対象）

②シラバスチェック実施要領（2020 年度開講科目対象）

報告事項：①授業に関するアンケート 2019 前期結果報告

②学外 FD 情報

第 4 回 2020 年 3 月 5 日（木） 10:30～12:00

FD 研修会

講演テーマ：ペップトーク『やる気を引き出す魔法の言葉』

講師：岩崎 由純 氏（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）

2020 年 2 月 25 日政府による新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針、また大学の対応方針を受け、FD 研修会（第 4 回委員会）については中止することとなった。

FD 研修会

【日時】2020 年 3 月 5 日（木） 10:30～12:00

【講演テーマ】ペップトーク『やる気を引き出す魔法の言葉』

【講師】岩崎 由純 氏（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）

2020 年 2 月 25 日政府による新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針、また大学の対応方針を受け、FD 研修会（第 4 回委員会）については中止することとなった。

FD 委員会/大学院 FD 委員会およびハラスメント防止委員会共催研修会について

2020 年 2 月 27 日

下記内容で、FD 委員会/大学院 FD 委員会およびハラスメント防止委員会共催の研修会を開催します。

記

講 師	一般財団法人日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎由純 氏
演 題	ペップトーク『やる気を引き出す魔法の言葉』 ※ペップトークとは、アメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチ。スポーツの現場はもちろん、家庭、学校、職場で使えるシンプルでポジティブなコミュニケーションスキルとして、岩崎氏が確立したスキルです。
日 時	3 月 5 日 (木) 10 : 30 ~ 12 : 00
場 所	本部大会議室

以上

各コースの FD 活動の記録

コース	月日	項目	内容・成果等
作曲 (作曲理論部会)	2019/4/22	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(管弦楽分科会)を開催し、授業内容や小テストに関して意見交換を行った。参加教員は5名。
作曲 (作曲理論部会)	2019/4/25	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(ソルフェージュ分科会)を開催し、今年度より開講された「ソルフェージュ研究」について意見交換を行った。試験の実施方法、成績のつけ方等を議論し、確認した。参加教員は6名。
作曲 (作曲理論部会)	2019/5/10	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(作曲法・編曲法分科会)を開催し、授業内容や期末試験に関して意見交換を行った。参加教員は6名。
作曲 (作曲理論部会)	2019/5/23	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(ソルフェージュ分科会)を開催し、今年度の授業の状況、および期末試験問題の作成に関して意見交換を行った。参加教員は6名。
作曲 (作曲理論部会)	2019/6/14	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(対位法分科会)を開催し、授業内容や期末試験に関して意見交換を行った。また、洗足オンラインスクールが開発する対位法の新教材について説明した。参加教員は4名。
作曲 (作曲理論部会)	2019/8/1	作曲理論部会 (分科会)	作曲理論部会(ソルフェージュ分科会)を開催し、成績のつけ方について意見交換を行った後、審議して成績を決定した(ソルフェージュⅠ～Ⅳ、ソルフェージュ研究Ⅰ)。続いて学校の状況を報告し、音楽の基礎力の向上について「歌ったりリズムを読んだりする《普通の音楽体験》」を継続することの重要性を理解させたい」という点を特に伝えた。
作曲 (作曲理論部会)	2019/8/1	作曲理論部会 (総会)	作曲理論部会(総会)を開催し、成績のつけ方について意見交換を行った後、審議して成績を決定した(音楽分析基礎講座、和声学Ⅰ～Ⅴ、作曲法・編曲法Ⅰ)。続いて、GPAに関すること、休講に関する事など、本学の状況や考え方を報告した。その他、夏の発表会や、特別講座、そして新しい教育ソフトについての報告を行った。
音楽・音響デザイン	2019/6/30	音楽・音響デザインコース、録音の年度末試験についての意見交換。	音楽・音響デザインコース、録音を志向する年度末試験を、これまでのプレゼン式から、各担当教員による評価方式に変更する可能性について、録音を担当する教員らで議論された。学生のレベル差、留学生の増加(言語)、試験会場の問題などを緩和するための案として、コースの副責任者から提案されたが、現時点では意見交換のレベルに留まっている。
打楽器	2019/7/26	エマニュエル・セジョルネ、シルヴィー・レナール マスタークラス開催	SM 地下スタジオに於いて、ストラスブル音楽院打楽器科教授のエマニュエル・セジョルネ先生、シルヴィー・レナール先生をお招きしてマスタークラスを開催した。3名の打楽器コース学生がそれぞれ、セジョルネ先生の作品を含むフランス人作曲家の作品の公開レッスンを受け、作曲家ご本人ならではの、または作曲家と同じ国の方ならでこそうかがえる作品に関する情報を教えて頂けたなど、レッスン受講学生、聴講生のみならず聴講した打楽器コース教員にとっても勉強になる時間となった。

打楽器	2019/8/25	オープンキャンパス 打楽器コースイベント「山澤洋之 作品レクチャーミニ コンサート」	オープンキャンパスで打楽器コースイベントとして、作曲家としても活躍する打楽器コース山澤洋之先生の作品を集めたミニコンサートを企画、開催した。山澤先生のソロ演奏、山澤先生と大学院生2名と卒業生1名によるアンサンブル演奏の合間には、先生による作品解説や、打楽器アンサンブルを演奏する上で大切な認識、打楽器作品を作曲したい人へのアドバイスなどのミニレクチャーも交えて頂き、大変充実した時間となった。
ジャズ	2019年6月、7月	コース専任会議	4年生後期実技試験(卒業試験)のあり方につき、数回のミーティングを実施。従来、教員が伴奏していたシステムを変更し、学生同士のアンサンブルで採点することに変更。これに関して、各専攻楽器担当教員の意見交換を行い、新しい試験方法の意義の確認と、採点基準の周知を行った。
ジャズ	2019年9月～10月	コース専任会議	ジャズコース学生のアンサンブル履修向上にむけて2カ月にわたり数回のミーティングを実施。従来実技試験と別に実施していたアンサンブルレーティング試験を合体させると共に、コース教員と意見交換を行い、各教員のアンサンブルの内容と参加資格であるレーティングのレベルの再検討を行った。
ジャズ	2020/1/30	教員会議	①新体制の発表（AP、副AP）②2020年度募集状況報告及び来年度の募集への協力の依頼③試験、イベント、会議等への出席の依頼(年間スケジュールの確認の徹底)④休講を減らすことの依頼及び、補講の徹底⑤出席管理の徹底のお願い（出席状況の悪い学生にS及びAの成績をつけないことを徹底）⑥健全な学習環境の確保のため、その第一歩としての「挨拶運動」への協力の依頼。
現代邦楽	2019/4/15	部会	今年度の在籍学生の状況を把握した。中国からの留学生が2名いることについての留意点についても情報共有を行った。まは年間の演奏会イベントの計画骨子の確認と、プログラム策定を進めた。また合奏指導についての共通認識を図った。カリキュラムについては前年度からの変更点はないのだが、個人レッスンについての学生の志望や方向性を勘案した丁寧な指導を心がけるよう、再認識を呼び掛けた。
バレエ	2018/10/21	コース部会	FD委員会によるシラバスチェックの結果を受け、コース内でもシラバスチェックを実施。次年度シラバス作成に関しての意見交換、必要箇所の修正を行った。
バレエ	2019/3/18	コース部会	成績評価の厳格化をより一層進める為、2018年度に実施された学年末試験、また卒業研究の内容をもとに、実技試験実施要領及び採点基準について、意見交換を行い、内容の検討を行った。
バレエ	2019/9/5・12/8	コース部会	次年度の公演について、昨年度、今年度の問題点、改善点についての意見交換を行い、内容を検討した。
バレエ	2019/10/9	コース部会	今年度の後期公演、実技試験、卒業試験について、再度、改善点の話し合いを行った。
バレエ	2020/1/23	コース部会	次年度オリエンテーション期間中のガイダンスについて意見交換を行い、内容を検討した。
バレエ	複数回	コース部会	学生の生活指導、メンタルケアの方法について、学生相談室、及び学務部の先生を交えて、話し合いを行った。

バレエ	毎月1回程度	バレエ部会	ポータルの出席管理システムで学生の出席状況を随時把握。毎月行われる教員会議において現状報告や今後の対応についての議論を行った。個別指導が必要な学生に対しては、随時個別連絡や呼び出しを行った。
バレエ	複数回	コース部会	学生の生活指導、メンタルケアの方法について、学生相談室、及び学務部の先生を交えて、話し合いを行った。
ダンス	2019/3/11	コース部会	ダンスコース教員全員が参加し、指導方針、授業内容、学生対応等について意見交換を行った。 〔主な内容〕①年間スケジュールの確認。②カリキュラムの確認。③各授業の進行予定・内容について各セクションから報告。④学生対応について共通の認識を持つ為の確認、意見交換。⑤ポータル等、日常的に必要な業務の説明と確認。⑥新任教員の紹介。
ダンス	2019/4/1	コース部会	開設2年目の初日という事で、新入生・2年生の専攻人数確認や、前回の部会で解決できていなかった内容の確認などをダンスコース教員全員参加で行った。その後引き続き2019年度の公演に関わる講師のみ残り、公演内容、リハーサル計画、方針等、意見交換を行った。
ダンス	2019/7/4	コース専任会議	後期以降4学年揃うまでの授業や公演の方向性、計画について意見交換を行った。
ダンス	2019/8/25	コース専任会議	後期に向けて、授業や公演の方向性・計画、また学生対応についてなど意見交換を行った。
ワールドミュージック	2019/2/6	2019年度 レッスン、室内楽研究担当者会	新年度（2019年度）よりコースが開始されるため、室内楽研究担当者および実技レッスン担当者4名で、主にコース演奏会の内容についての意見交換を行い、授業やレッスンの方向性を検討していった。 主な内容は以下の通り。 ①クラシックギターコースの演奏会と内容の差をつける。 ②学生2人ではフルのコンサートは難しいため、中根、児嶋先生、有田純弘先生に演奏会当日もご協力をいただくことを決定。それを踏まえて曲目の選定、指導を行うことを確認。
ワールドミュージック	2019/4/4	2019年度 WM 概論担当者ミーティング	授業担当者4名参加 昨今の学生の授業への取り組み方について意見交換を行い、学生との接し方、授業の進め方、評価の方法などの検討を行った。 その結果以下のことを確認した。 ①各音楽とも、できる限り学生各人の専攻楽器との関連性を探る。 ②講義だけではなく、学生自身が実際に演奏できるような時間を設けて実践的に授業を行っていく。 ③時間的にレポート提出が難しいため、期末テストを行う。5名の教員が20点ずつ問題を作成する。
ワールドミュージック	2019/6/3	前期実技試験運営会議	前期末実技試験について以下の検討を行った。 ①試験日程の決定 ②試験課題の決定 ③試験の採点員についての検討
ワールドミュージック	2019/7/11	コース実技担当、室内楽担当者会議	実技レッスン担当者及び室内楽担当教員を中心に、学生の実技レベルの情報交換と、冬の音楽祭でのコンサートへ向けての指導方針の話し合いを行った。実技担当教員から学生からのコンサートへの要望も報

			告され、大学での勉強に学生が何を期待してかがわかり、有益であった。
ワールドミュージック	2019/7/31	ワールドミュージック概論担当者会議	ワールドミュージック概論担当者 5 名による、前期授業における学生の様子、評価について話し合いを行った。また、各教員の授業での工夫、今後の課題を率直に意見交換していった。来年度の当授業の方針を決める際の参考としていく。
ワールドミュージック	2019/4/3 および 2019/4/4	2019 年度 WM コース部会	両日合わせて 20 名参加。コースが開始元年となるため、改めてコースの概要等の説明をおこなった。特に、WM 概論と WM 演奏論の授業についての説明を重点的にを行い、各教員の授業への理解を深めてもらうようにした。
FD 委員会事務局	2019/8/23	Teaching & Learning Forum (主催：アシスト マイクロ株式会 社、Blackboard Inc) 学外	アシストマイクロ株式会社他主催の Teaching & Learning Forum 「『学修成果の可視化』には何が必要かを考える ～アセスメントポリシー、定性的評価、ルーブリックとテクノロジーの役割～」に FD 委員 1 名が参加した。会場は昭和女子大学。基調講演は濱名篤関西国際大学学長（学校法人濱名学院理事長）。その他には、渡辺博芳 帝京大学教授による「汎用的能力の育成と評価 ～帝京大学情報電子工学科の取り組み～」、白井詩沙香大阪大学講師による「大阪大学における Blackboard Learn を用いた一般情報教育科目の実践事例」等の講演及び総合討論・ワークショップがあった。学修成果の可視化に向けた各大学の事例は、今後の本学の取り組みに対し、大いに参考となるものであった。
教職課程	2019/7/27	教員免許事務勉強会（学外）	京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会主催の教員免許事務勉強会に教員養成カリキュラム委員会委員 2 名が参加した。会場は龍谷大学。テーマは「学力に関する証明書作成にあたっての必要な知識①～平成 20 年以降の文部科学省から発出された Q&A を中心に」。参加者は、日本全国から国公私立 131 大学 232 名。講師によるテキスト説明、グループワークからなる勉強会であり、再課程認定後の対応等テーマ以外でも参加大学からの貴重な情報提供もあり、非常に有益な勉強会であった。
教職課程	2019/9/7	教員免許事務勉強会（学外）	京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会主催の教員免許事務勉強会に教員養成カリキュラム委員会委員 2 名が参加した。会場は京都先端科学大学。テーマは「学力に関する証明書作成にあたっての必要な知識②～旧法以前からの読み替えを中心に」。参加者は、日本全国から国公私立 134 大学 235 名。講師によるテキスト説明、グループワークからなる勉強会であり、参加大学からの貴重な情報提供もあり、非常に有益な勉強会であった。旧法以前の方から学力に関する証明書の発行依頼があった場合の、みなし（読み替え）を行うが、その際の留意事項や過去の単位の取り扱いや証明書の記述方法等について認識を改めることができた。
教職課程	2019/12/20	教職課程 FD 研修会（教員養成カリキュラム委員会・教職センター）	教職課程を担当する教職員 20 名が参加。講演・報告を受け、今後の学生指導の方針・方法について活発な意見交換を行った。今後も引き続き、担当教員間で連携をとりながら、学生の将来を見据えた教職指導を強力に推進していくことを確認した。

			主な内容は以下の通り。①講演：「大学におけるアクティブ・ラーニングの実践報告」（田神仁先生） ②質疑応答
--	--	--	--

（FD 活動報告にて委員会へ報告された事項のみ記載）

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・専攻科・大学院の 2019 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/6（木）	担当シラバス配布（2 月教授会にて）
2/6（木）～2/13（木）	シラバスチェック
～2/21（金）	チェックシート等の提出（チェック担当教員→事務局）
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/1（日）～3/31（火）	集計・分析
未定	結果報告（2020 年度 FD 委員会）

5. チェック項目（次ページ）

6. チェック表の提出（メール）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局
- ・提出締切日：2020 年 2 月 21 日（金）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目の結果は、授業担当教員に提示し、2020 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック項目》

項目	点検内容	
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④	学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習 (予習・復習)	①	授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	②	授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	②	評価基準は明示されているか。
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。 授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	②	半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容 やその相互の関連が示されているか。
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果		特に改善が必要と思われるものに関しては、改善を依頼するコメントを記入してください。特に、修正を要するコメントの付いたものは、事務局より、個別に担当教員に連絡いたします。

2020 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）

項目	点検内容	主な指摘事項	2020
到達目標	① 学習の到達目標が具体的に示されているか。 ② 学習の到達目標が現実的なものであるか。 ③ 学習の到達目標が測定可能なものであるか。 ④ 学生を主体としてわかりやすく書かれているか。	・具体的な記述が必要 ・わかりやすい表現の為に工夫が必要	35
授業概要	① 初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	12
授業時間外の学習	① 授業外学習の内容や方法が示されているか。	・具体的な方法、指針の記述が必要 ・具体的な予習復習の方法を提示する	96
成績評価の方法 および 基準	① 授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。 ② 評価基準は明示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す ・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明	58
	③ 「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。 授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない	0
授業計画	① 授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	33
	② 半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	34
	③ 「試験」を授業回数に含んでいないか。 「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。	・「試験」が回数に含まれている	0
テキスト 参考文献	① 「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017 年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	72
履修の条件等		・記述表現への指摘 等	72
計			412

2020 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項

【1】今回の結果について

1. 2020 年度のシラバス執筆にあたっての重点項目は①「成績評価の方法および基準」欄に出席に関する記述を行わない、②「授業計画」欄に「同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にすること、③「授業計画」欄に試験だけの回を設けないこと、の 3 点であった。シラバスチェックの結果、①と③においては、0 件であったが、②は前年度修正されたにも関わらず、34 件も指摘されたことは残念であった。次年度の執筆時に、徹底を図りたい。
2. 「授業時間外の学習（予習復習について）」欄において、具体的な方法や目安となる時間が明示されていないとの指摘が一番多く、96 件あった。大学における単位制度では、大学設置基準に示されているように、1 単位の修得に必要な学習時間は 45 時間（講義の場合：講義 15 時間、予習復習 30 時間）と定められている。つまり、予習復習を含めての単位認定であることを改めて確認し、本欄の記述の充実を図りたい。
3. 「授業で使用するテキスト・参考文献」欄において、「特になし」との記載が多かった。2017 年度の文部科学省からの通達には、「テキスト・教科書」と「参考資料（参考書）」の両方とも「なし」は認められないとある。予習復習の充実のためにも、本欄の記述の徹底を図りたい。

【2】今後の課題等について

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、シラバスチェックで指摘された事項の修正作業が滞ってしまった。そのため、学生にシラバスを開示する前まで修正作業を完了することができなかった。また、急遽、全開講科目に遠隔授業を取り入れることとなった為、今後、遠隔授業に基づくシラバス内容を記載していく必要が生じた。
2. シラバスチェック評価者の基準にばらつきが見られたように思われる。シラバス記載内容が同じような場合であっても、指摘がなされる場合と指摘がなされない場合が生じている。そのため、今回の指摘事項をそのまま科目担当者へフィードバックしてよいものか、検討が必要である。
3. 上記 2 に関連して、今後は、実際のシラバスチェック前に評価者自身の基準を統一するための研修・打合せが必要であると思われる。
4. 2020 年 3 月 11 日付の大学基準協会からの「『改善報告書』の検討結果について（通知）」（2020 年 3 月 23 日教授会報告）によると、本学シラバスに対し、「『授業計画』が各回のタイトルのみを表示した科目が散見されることから、学生の学修に役立つシラバスとなるよう更なる改善が望まれる」との意見を受けている。今まで本学が許容してきた基準よりも、より厳しい基準によるシラバスが求められていることがわかる。よって、次年度以降のシラバス執筆要領を改訂する必要がある。

学修行動調査

1. 目的

FD 活動の一環として、学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・学部・専攻科・大学院の全学生（正規生）を対象とします。
- ・科目等履修生・聴講生（非正規生）は対象外とします。

3. 実施の流れ

時期	項目
10/19（月）～10/31（土）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）延長
11/2（月）～3/18（木）	実施結果の閲覧（SENZOKU ポータル）

4. アンケートの質問内容と回答（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
学年別集計	学年別による集計
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・学年別集計及び全体集計は、SENZOKU ポータルを通じて、学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、教務委員会、IR 委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・専攻科・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
7/1（月） ～8/2（金）	11/25（月） ～2/7（金）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
8/26（月） ～3/13（金）	2/25（火） ～7/31（金）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2019 年 10 月	2020 年 6 月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（次ページ）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、室内楽研究、アンサンブル・ラボ、教職ピアノ実習の 5 分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・科目分類集計は、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために 1 週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言をしやすい雰囲気でしたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	取り上げられた曲目は適切でしたか。
18	指導教員は適切な演奏指導をしましたか。
19	合奏・合唱トレーナーの指揮・指導は適切でしたか。
20	助手の対応は適切でしたか。
21	客演や招聘指揮者に満足できましたか。
22	この授業を通じて合奏・合唱の素晴らしさを経験できましたか。

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために 1 週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・学部 の 4 年生（正規生）を対象とします。
- ・科目等履修生・聴講生（非正規生）は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/6（月）～3/13（金）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
4/6（月）～5/8（金）	実施結果の閲覧（デジタルサイネージ）

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、教務委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したものか、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	事務手続の目的が明確でわかりやすかった。	
8	職員の対応が迅速だった。	
9	職員の対応が丁寧だった。	
10	職員の説明がわかりやすい。	
11	ポータル等で提供された情報が十分だった。	
12	相談を親身になって聞いてくれた。	
13	質問や相談したことで問題が解決した。	
14	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
15	（専門性・専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。	
16	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。	
17	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。	
18	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。	
19	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。	
20	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。	
21	自らが所属したコースで学んだ意義があった。	
22	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。	
23	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	
24	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10点法）	
25	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

FD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第9条第1項の規定に基づき、FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

（組織）

第2条 FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- （1）学部長
- （2）学長の指名した教職員

（会議）

第3条 FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

（会議成立の要件）

第4条 FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

（審議事項等）

第5条 FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- （1）FD活動の企画立案
- （2）FD活動の実施計画の立案
- （3）FD活動の評価
- （4）FD活動に関する情報の収集と提供
- （5）その他学長の諮問する事項

- 2 FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

（議決）

第6条 FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事録）

第7条 FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

（事務の所管）

第8条 この規程に関する事務は、学務部が所管する。

（規程の改廃）

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第9条第1項の規定に基づき、大学院FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

（組織）

第2条 大学院FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- （1）研究科長
- （2）学長の指名した教職員

（会議）

第3条 大学院FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

（会議成立の要件）

第4条 大学院FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

（審議事項等）

第5条 大学院FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- （1）FD活動の企画立案
- （2）FD活動の実施計画の立案
- （3）FD活動の評価
- （4）FD活動に関する情報の収集と提供
- （5）その他学長の諮問する事項

- 2 大学院FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

（議決）

第6条 大学院FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事録）

第7条 大学院FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

（事務の所管）

第8条 この規程に関する事務は、学務部が所管する。

（規程の改廃）

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料1：学修行動調査結果

2019年度 学修行動調査

洗足学園音楽大学・大学院
FD委員会/大学院FD委員会

1

<1> 調査概要

【調査目的】学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる

【実施方法】SENZOKUポータル・アンケート機能にて

【対象】音楽学部、音楽専攻科、音楽研究科(全専攻、全コース、全学年)

【実施時期】2019年9月2日～10月15日

【所要時間】10分弱

【質問数】90問(学部1年・専攻科・大学院1年は73問)

【調査項目】通学日数 / 学習時間 / 学習以外の時間の過ごし方 / 課外活動の実施状況 / 授業の出席率 / 大学教育の選好 / 授業への取り組み / 学修成果 / 大学満足度

【比較対象】

ベネッセ総合教育研究所「第3回大学生の学習・生活実態調査報告書」(2016年実施/2018年調査結果公表)

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター「大学教育についての職業人調査」(2009年)

2

＜2-1＞ 調査の背景

- ◆ 私学事業団「一般補助・教育の質に係る客観的指標調査」(経常費補助金)への対応
- (設問) **学生の学修時間の実態及び学修行動の把握を組織的に行う**とともに、その結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
- (要件) 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握」のための手法として、アンケート調査等が考えられるが、**学修時間の実態を定量的に把握し集計・分析**していること。
- (設問) 学生本人の**学修成果の把握**や学修等の動機付けのために、単位認定、学位授与、卒業判定等とは別に、以下のア～エのいずれかの手法を用いて**学修成果の把握を行い、学生へのフィードバック**及びその結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
 - ア 外部の標準化されたテスト等による学修成果の調査・測定(アセスメント・テスト)
 - イ **学生の学修成果を把握するためのアンケート調査等**
 - ウ 学修評価の観点・基準を定めたルーブリックの活用
 - エ 学修ポートフォリオの活用
- (要件) 学修成果の把握とは、成績推移等から教育成果を把握することを目的として、学修前と学修後の双方の時点において、実施すること。また、アンケート調査は学生個人に着目して行われることが必要。この場合、調査対象は学生全員、かつ記名式のもの前提とする。

3

＜2-2＞ 調査の背景

- ◆ 学修成果の可視化(評価指標の例) → 調査結果の公表が求められている

	入学前・入学直後	在学中	卒業時・卒業後
大学 レベル	・入学試験 ・学生調査 ・調査書等の記載内容 ・入学時調査	・休学率 ・退学率 ・学生調査 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況	・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・学位授与数 ・アンケート調査
学部 レベル	・入学試験 ・入学時調査 ・面接、志望理由等	・GPA ・進級率 ・休学率 ・退学率 ・修得単位数 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況	・GPA ・国家試験合格率 ・単位修得状況 ・卒業時満足度調査 ・アンケート調査 ・就職率 ・学位授与数 ・就職先の卒業生評価
科目 レベル	・入学試験 ・プレメントテスト	・成績評価 ・学修ポートフォリオ	

4

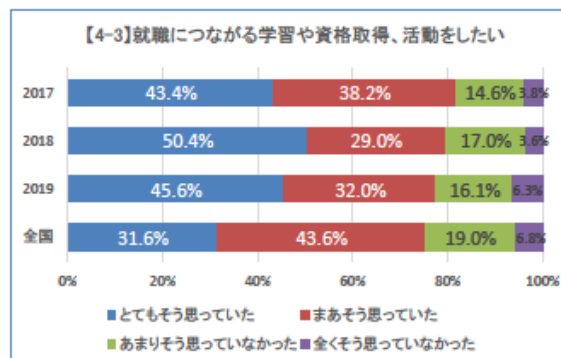
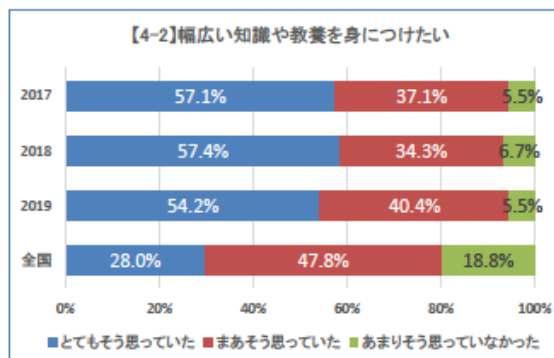
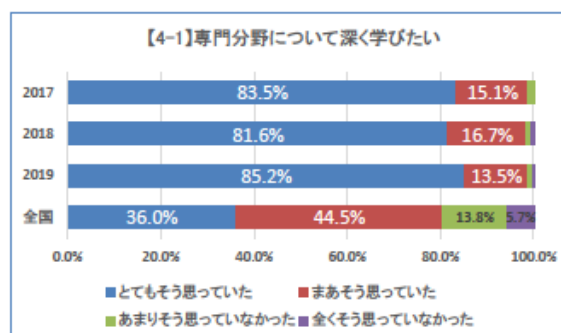
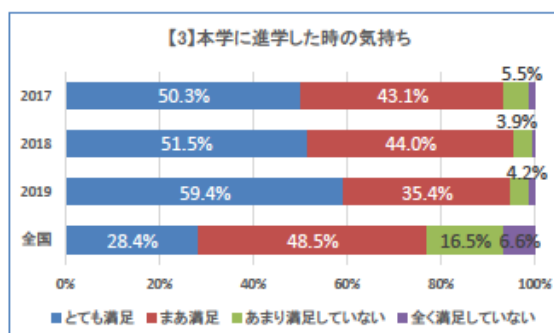
＜3＞ 回答率

			2019	2018	2017	2016
	在学生数	回答者数	回答率	回答率	回答率	回答率
1年生	575人	384人	66.8%	65.8%	66.1%	57.0%
2年生	522人	246人	47.1%	46.1%	43.2%	44.6%
3年生	494人	200人	40.5%	32.6%	31.5%	34.4%
4年生	473人	157人	33.2%	31.3%	25.4%	37.4%
学部合計	2064人	987人	47.8%	45.2%	43.0%	44.2%

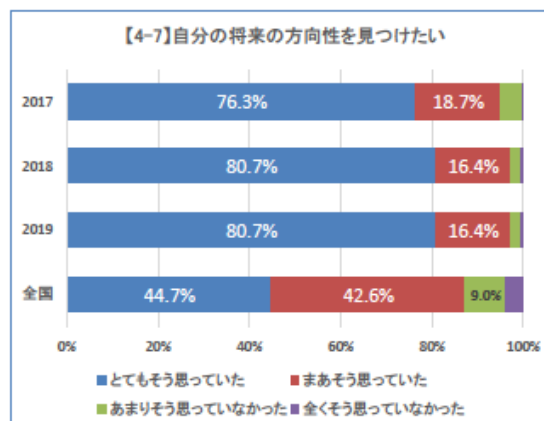
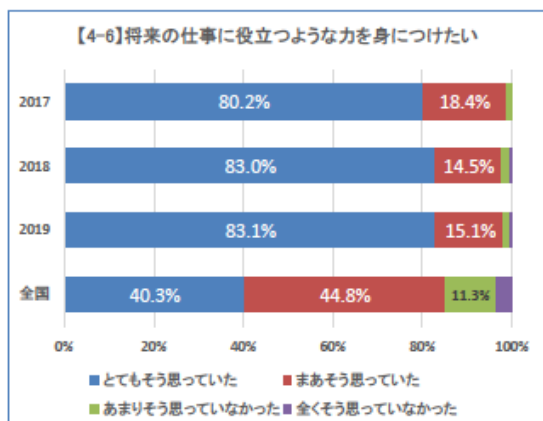
			2019	2018	2017	2016
	在学生数	回答者数	回答率	回答率	回答率	回答率
専攻科	6人	4人	66.7%	72.7%	66.7%	100.0%
院1年生	67人	47人	70.1%	68.1%	84.7%	50.9%
院2年生	69人	50人	72.5%	78.9%	66.1%	69.2%
院合計	136人	97人	71.3%	73.0%	75.4%	72.7%

5

＜4-1＞ 分析① 新入生の傾向



6



・進学満足度(とても満足+まあ満足)は90%を超えており、全国平均に比較し、20ポイントほど高い。また、「とても満足」の回答が8ポイント程高くなっている。

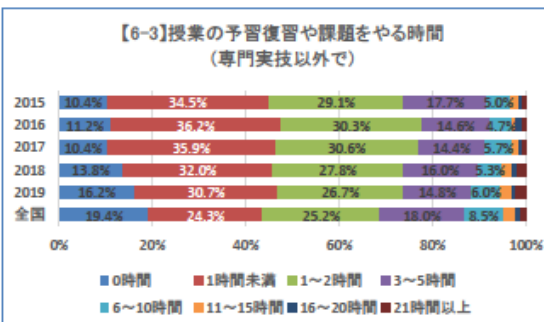
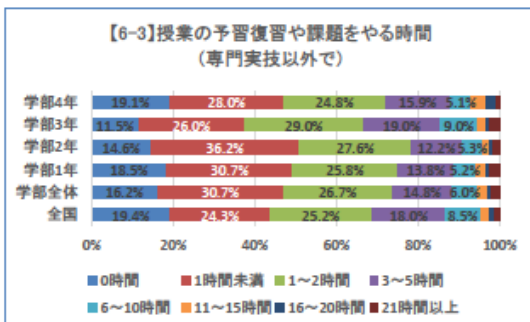
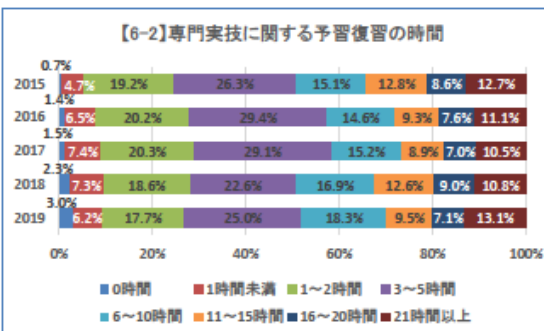
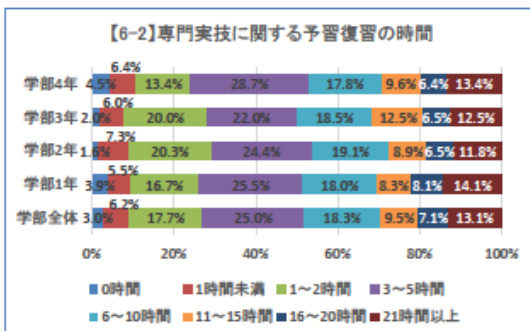
・専門教育について深く学びたい(「とても思う」と考える層が、全国平均に比較し、50ポイント程高い。

・「就職につながる学習をしたい(「とても思う」と考える層が全国平均に比較し、15ポイント程高い。

・「将来の仕事に役立つような力を身につけたい(「とても思う」)・「自分の将来の方向性を見つけない(「とても思う」と考える層は、80%を超えており、全国平均に比較し、40ポイント程高い。

7

<4-2> 分析② 学習時間

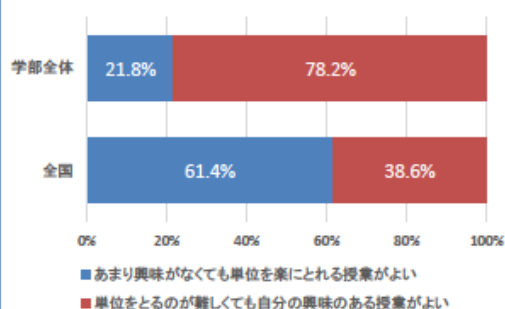


・専門実技と専門実技以外を合わせた予習復習の合計時間は、全国平均を上回る(1日2時間以上が2割)。

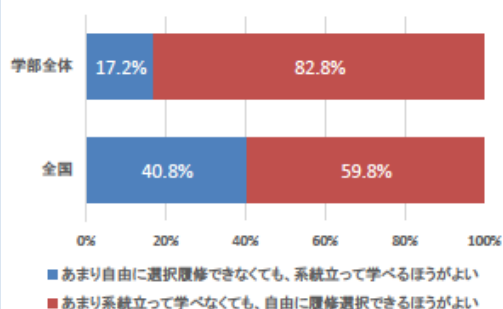
8

＜4-3＞ 分析③ 大学教育への考え方

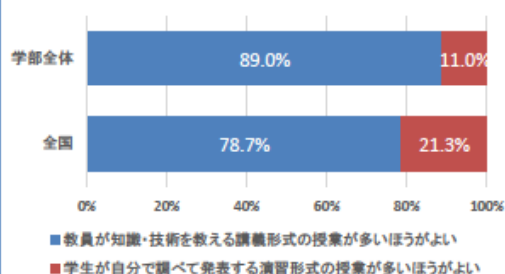
【8-1】単位修得が楽な授業 or 興味のある授業



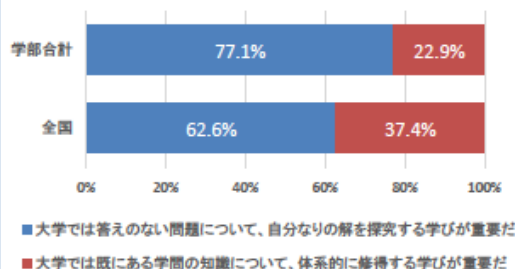
【8-6】自由な科目履修 or 系統的な科目履修



【8-4】教員が知識技術を教える講義形式の授業 or 学生が調べて発表する演習形式の授業

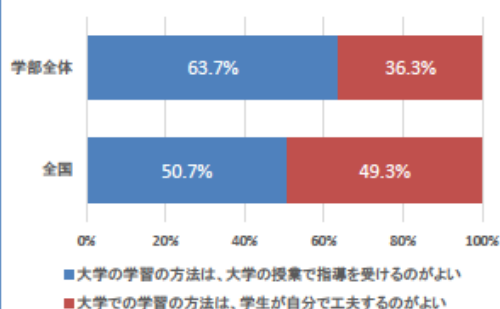


【8-13】自分なりの解を探究する学び or 学問の体系的な学び

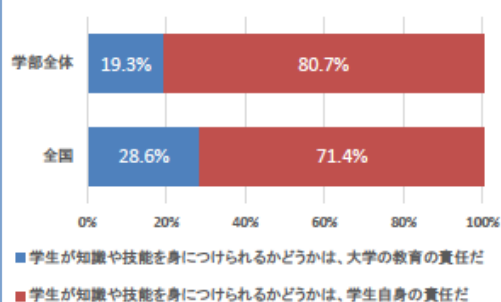


9

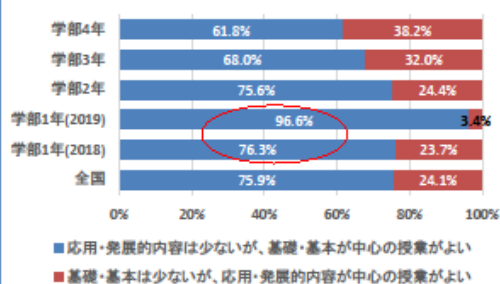
【8-7】大学での学習方法



【8-14】大学教育の責任 or 学生自身の責任



【8-3】基礎基本中心の授業 or 応用発展的内容中心の授業



・興味のある授業を自由に科目履修したい

・知識技術教授型の講義形式の授業を好む

・大学の学習方法は大学の授業で指導を受けたい

・学部1年の96.6%は基礎基本中心の授業を望んでいる。
(2018年度に比較し20ポイント程、数値が上昇)

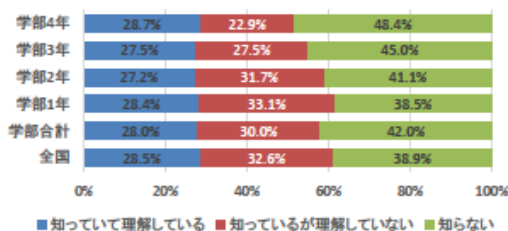
→学年が上がるにつれ、応用発展的内容を望む声が増える。

→体系的・順次性のあるカリキュラムや時間割を求めている。

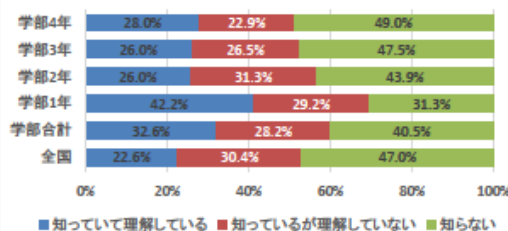
10

＜4-4＞ 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

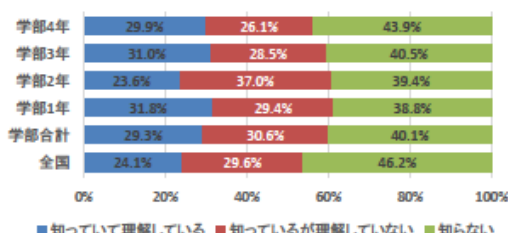
【14-1】建学の精神



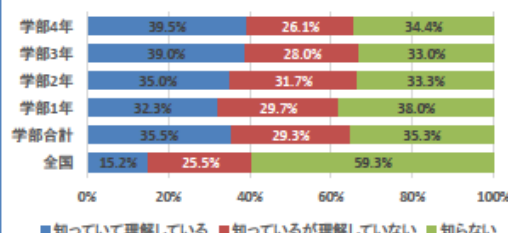
【14-2】アドミッションポリシー



【14-3】カリキュラムポリシー



【14-4】ディプロマポリシー

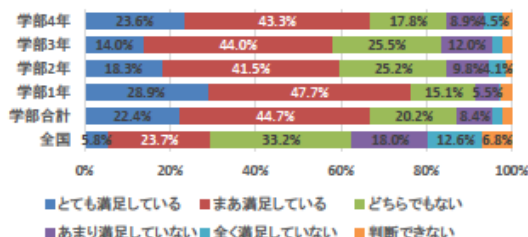


学部1年のアドミッションポリシーの認知度が高い(受験対策の影響大)。毎年の履修登録時に、ディプロマポリシーの達成度に関する自己評価を求めているため、その認知度は他のポリシーに比較し、高い。

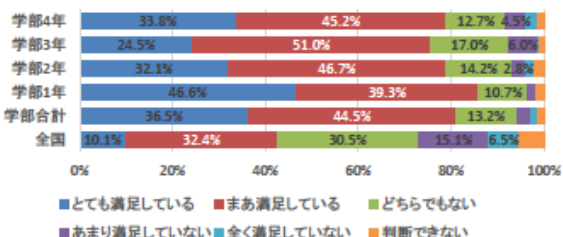
11

＜4-5＞ 分析⑤ 満足度

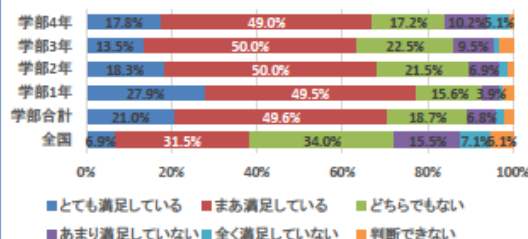
【15-3】学習支援体制(履修・学習相談等)



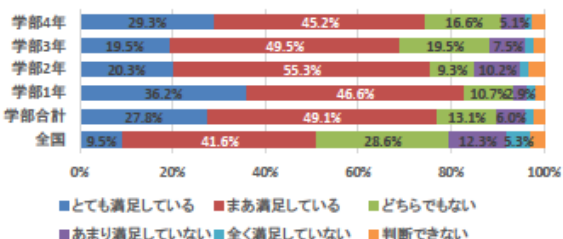
【15-5】教員(専門性の高さやよい影響を受ける等)



【15-6】授業・教育システム(授業内容やカリキュラム)



【15-8】大学生活を総合的に判断して



全国平均に比較し、履修指導や学習指導等の学習支援体制(17.6ポイント)/教員の高度な専門性(38.5ポイント)/授業内容やカリキュラム等の授業・教育システム(32.2ポイント)/総合的な満足度(25.8ポイント)の満足度が高い。

12

＜5＞ まとめ

- ①新入生＝将来の仕事・高い専門性を求める、進学満足度が高い
- ②学習時間＝実技と実技以外の合計値は全国平均を上回る
- ③自由な科目履修を好む一方、学習方法については大学での指導を求め、知識教授型の講義形式の授業を強く望んでいる
→特に、学部1年は、基礎基本中心の授業を求めている(96.6%)。
→体系的・順次性のあるカリキュラムや時間割が必要
- ④ディプロマポリシー(卒業時に身につけておいてほしい力)の認知度を高めていくよう、履修登録時の振り返りを強化する
- ⑤学習支援体制・教員の専門性・授業内容やカリキュラム等の高い満足度を得ている項目に関しては、更に充実を図る

資料 2 : 授業に関するアンケート結果

2019-09-04 版

2019 年度 前期 授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部・専攻科-講義全体

学部・専攻科-教養科目

大学院-レッスン

洗足学園音楽大学・大学院

2019-09-04 版

2019年度前期 授業に関するアンケート 講義用 全体集計結果

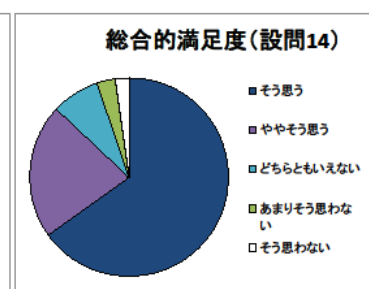
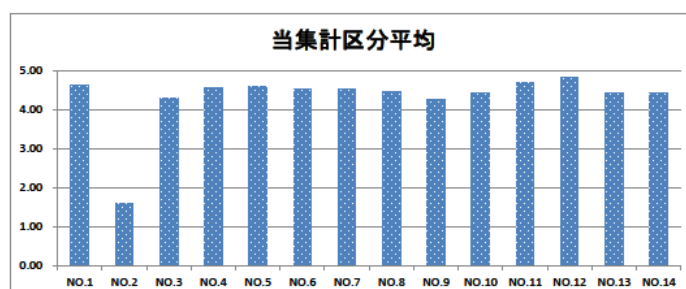
集計区分 学部・専攻科-講義

履修者数	7693
回答数	3869
回答率	50.29%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.62	半期15-13回 通年30-25回 69.68%	半期12-10回 通年25-20回 25.07%	半期9-7回 通年19-14回 3.49%	半期6-4回 通年13-8回 0.98%	半期3回以下 通年7回以下 0.78%	3869	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.58	4時間以上 4.52%	3-4時間 2.53%	2-3時間 5.58%	1-2時間 21.50%	1時間未満 65.86%	3869	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.29	そう思う 51.12%	ややそう思う 32.46%	どちらとも いえない 11.86%	あまりそう 思わない 3.36%	そう思わない 1.19%	3869	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.57	そう思う 70.26%	ややそう思う 19.85%	どちらとも いえない 7.29%	あまりそう 思わない 1.40%	そう思わない 1.21%	3848	221
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.61	73.18%	18.21%	5.86%	1.60%	1.16%	3636	233
6	教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか	4.53	71.26%	17.24%	6.54%	2.90%	2.07%	3626	243
7	板書や視聴覚教材の利用は適切でしたか	4.52	69.28%	19.07%	7.84%	2.24%	1.57%	3623	246
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.48	66.47%	20.82%	8.48%	2.46%	1.77%	3621	248
9	学生から質問や発言しやすい雰囲気でしたか	4.27	60.25%	18.74%	12.26%	5.33%	3.42%	3623	246
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.43	64.67%	21.60%	7.90%	3.23%	2.60%	3620	249
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.68	78.31%	14.88%	4.55%	1.44%	0.83%	3623	246
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.83	88.09%	8.31%	2.73%	0.41%	0.44%	3620	249
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.43	65.39%	20.41%	8.23%	3.59%	2.38%	3620	249

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.45	65.13%	21.89%	7.75%	2.97%	2.25%	3869	0



2019-09-04 版

2019年度前期 授業に関するアンケート 講義用 全体集計結果

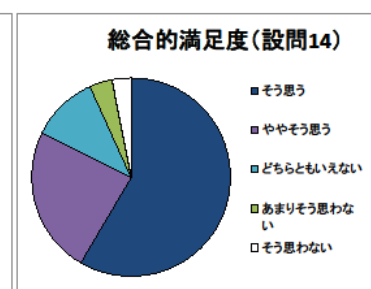
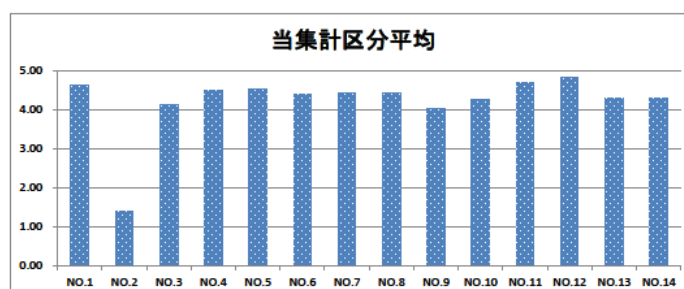
集計区分 学部・専攻科-教養科目

履修者数	2170
回答数	1096
回答率	50.51%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.64	半期15-13回 通年30-25回 69.07%	半期12-10回 通年25-20回 27.10%	半期9-7回 通年19-14回 3.28%	半期6-4回 通年13-8回 0.27%	半期3回以下 通年7回以下 0.27%	1096	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.40	4時間以上 2.01%	3-4時間 1.37%	2-3時間 4.20%	1-2時間 19.53%	1時間未満 72.90%	1096	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.12	そう思う 43.34%	ややそう思う 33.85%	どちらとも いえない 15.88%	あまりそう 思わない 5.38%	そう思わない 1.55%	1096	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.51	そう思う 66.03%	ややそう思う 22.84%	どちらとも いえない 8.28%	あまりそう 思わない 1.52%	そう思わない 1.33%	1051	45
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.52	67.97%	21.03%	7.17%	2.29%	1.53%	1046	50
6	教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか	4.40	65.13%	19.25%	9.20%	3.35%	3.07%	1044	52
7	板書や視聴覚教材の利用は適切でしたか	4.43	64.08%	21.74%	9.10%	3.07%	2.01%	1044	52
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.42	64.59%	20.25%	10.08%	2.78%	2.30%	1042	54
9	学生から質問や発言しやすい雰囲気でしたか	4.03	50.81%	19.56%	16.87%	7.57%	5.18%	1043	53
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.25	56.92%	23.08%	11.63%	5.00%	3.37%	1040	56
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.70	78.41%	15.26%	4.99%	0.96%	0.38%	1042	54
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.85	88.86%	7.59%	3.07%	0.19%	0.29%	1041	55
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.31	58.83%	23.03%	11.04%	4.41%	2.69%	1042	54

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.31	58.49%	23.91%	10.86%	3.65%	3.10%	1096	0



2019-09-04 版

2019年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

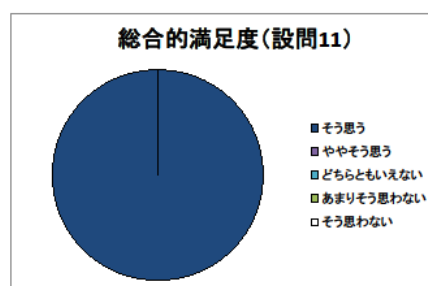
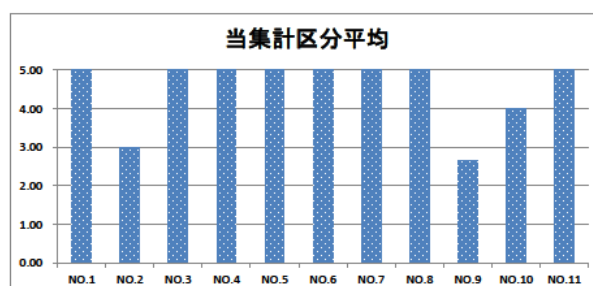
集計区分 大学院-レッスン

履修者数	13
回答数	3
回答率	23.08%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	5.00	半期15-13回 通年30-29回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年13-9回	半期3回以下 通年7回以下	3	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.00	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	3	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	2.67	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	3	0



2019-02-19

2019 年度 後期
授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部・専攻科-講義

学部・専攻科-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2019-02-19

2019年度後期 授業に関するアンケート 講義用 全体集計結果

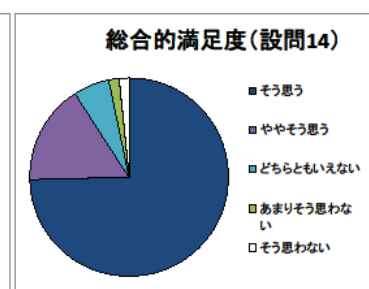
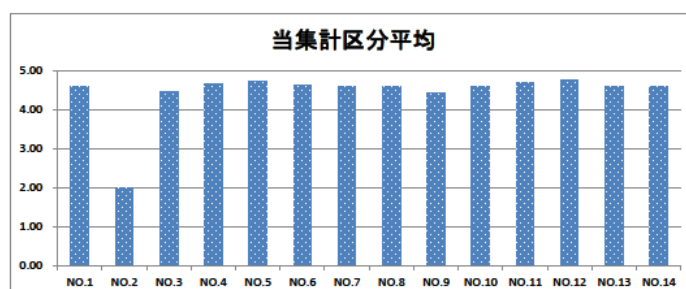
集計区分 学部・専攻科-講義

履修者数	18962
回答数	8555
回答率	45.12%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.61	半期15-13回 通年30-25回 70.41%	半期12-10回 通年25-20回 23.33%	半期9-7回 通年19-14回 4.14%	半期6-4回 通年13-8回 0.98%	半期3回以下 通年7回以下 1.13%	8555	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.98	4時間以上 10.24%	3-4時間 3.96%	2-3時間 10.33%	1-2時間 24.87%	1時間未満 50.59%	8555	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.47	そう思う 63.50%	ややそう思う 24.52%	どちらとも いえない 8.77%	あまりそう 思わない 1.98%	そう思わない 1.24%	8555	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.66	そう思う 76.56%	ややそう思う 16.01%	どちらとも いえない 5.39%	あまりそう 思わない 1.09%	そう思わない 0.95%	7496	1059
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.72	80.09%	14.13%	3.86%	1.09%	0.83%	7459	1096
6	教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか	4.64	76.74%	15.04%	5.24%	1.73%	1.25%	7446	1109
7	板書や視聴覚教材の利用は適切でしたか	4.58	73.59%	15.15%	8.64%	1.26%	1.35%	7384	1171
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.60	73.39%	17.24%	6.22%	1.94%	1.21%	7425	1130
9	学生から質問や発言しやすい雰囲気でしたか	4.43	67.78%	16.74%	9.16%	3.68%	2.64%	7425	1130
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.60	74.49%	16.68%	5.23%	2.05%	1.56%	7424	1131
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.71	79.60%	14.38%	3.88%	1.20%	0.93%	7418	1137
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.77	84.25%	10.81%	3.37%	0.92%	0.65%	7418	1137
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.59	73.86%	16.68%	5.93%	1.99%	1.55%	7405	1150

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.61	そう思う 74.59%	ややそう思う 16.31%	どちらとも いえない 5.82%	あまりそう 思わない 1.68%	そう思わない 1.60%	8555	0



2019-02-19

2019年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

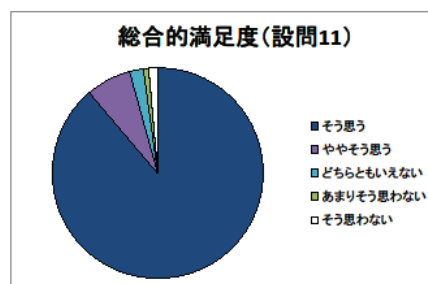
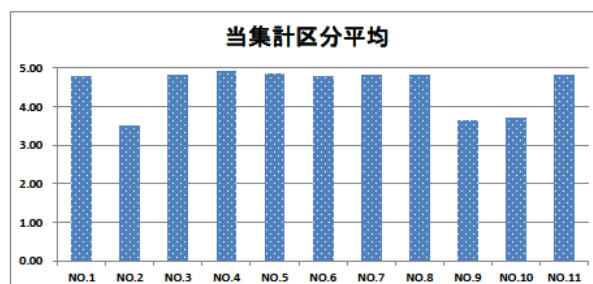
集計区分 学部・専攻科レッスン用-全体

履修者数	4012
回答数	1514
回答率	37.74%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.79	半期15-13回 通年30-25回 83.75%	半期12-10回 通年25-20回 12.88%	半期9-7回 通年19-14回 2.11%	半期6-4回 通年13-8回 0.86%	半期3回以下 通年7回以下 0.40%	1514	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.49	4時間以上 37.52%	3-4時間 12.15%	2-3時間 20.21%	1-2時間 21.86%	1時間未満 8.26%	1514	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.82	そう思う 85.67%	ややそう思う 11.82%	どちらとも いえない 1.85%	あまりそう 思わない 0.33%	そう思わない 0.33%	1514	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	そう思う 93.09%	ややそう思う 5.46%	どちらとも いえない 0.95%	あまりそう 思わない 0.29%	そう思わない 0.22%	1374	140
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.84	そう思う 88.24%	ややそう思う 8.77%	どちらとも いえない 1.90%	あまりそう 思わない 0.58%	そう思わない 0.51%	1369	145
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.76	そう思う 81.17%	ややそう思う 15.16%	どちらとも いえない 2.78%	あまりそう 思わない 0.29%	そう思わない 0.59%	1365	149
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.81	そう思う 86.09%	ややそう思う 10.98%	どちらとも いえない 1.54%	あまりそう 思わない 1.02%	そう思わない 0.37%	1366	148
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.79	そう思う 84.90%	ややそう思う 11.07%	どちらとも いえない 2.71%	あまりそう 思わない 0.95%	そう思わない 0.37%	1364	150
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.63	そう思う 39.75%	ややそう思う 16.61%	どちらとも いえない 21.01%	あまりそう 思わない 11.90%	そう思わない 10.73%	1361	153
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.71	そう思う 45.41%	ややそう思う 13.87%	どちらとも いえない 18.78%	あまりそう 思わない 10.56%	そう思わない 11.37%	1363	151

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.81	そう思う 88.84%	ややそう思う 6.87%	どちらとも いえない 2.11%	あまりそう 思わない 0.79%	そう思わない 1.39%	1514	0



2019-02-19

2019年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

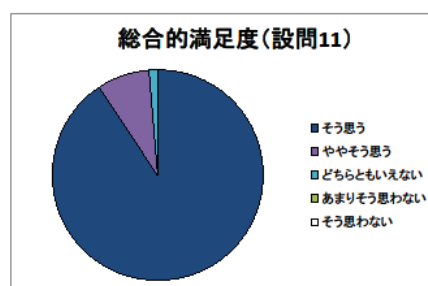
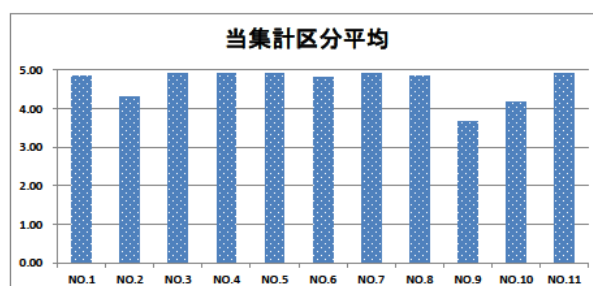
集計区分 大学院-レッスン

履修者数	307
回答数	150
回答率	48.86%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.85	半期15-13回 通年30-25回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下	150	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.31	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	150	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.89	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	150	0
			90.67%	5.33%	2.67%	1.33%	0.00%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.93	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	136	14
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.90	92.65%	7.35%	0.00%	0.00%	0.00%	138	12
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.80	82.61%	14.49%	2.90%	0.00%	0.00%	138	12
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.91	91.30%	8.70%	0.00%	0.00%	0.00%	138	12
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.86	89.86%	8.70%	0.00%	0.00%	1.45%	138	12
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.67	39.13%	17.39%	20.29%	17.39%	5.80%	138	12
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.18	50.00%	30.88%	11.76%	1.47%	5.88%	136	14

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.89	90.67%	8.00%	1.33%	0.00%	0.00%	150	0



2019-02-19

2019年度後期 授業に関するアンケート 講義用 全体集計結果

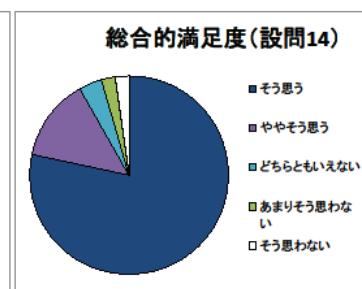
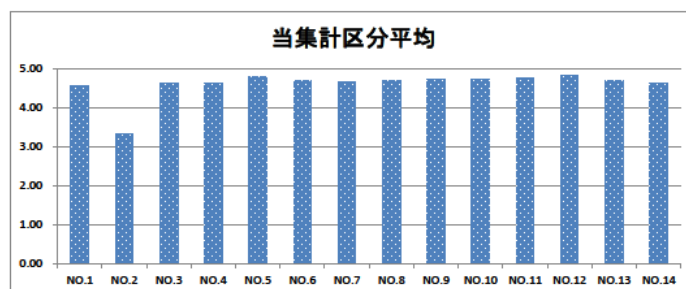
集計区分 大学院-講義

履修者数	566
回答数	134
回答率	23.67%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.57	半期15-13回 通年30-25回 70.15%	半期12-10回 通年25-20回 21.64%	半期9-7回 通年19-14回 5.97%	半期6-4回 通年13-9回 0.00%	半期3回以下 通年7回以下 2.24%	134	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.32	4時間以上 32.09%	3-4時間 14.93%	2-3時間 17.16%	1-2時間 24.63%	1時間未満 11.19%	134	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.63	そう思う 73.13%	ややそう思う 18.66%	どちらとも いえない 6.72%	あまりそう 思わない 1.49%	そう思わない 0.00%	134	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.62	そう思う 71.79%	ややそう思う 21.37%	どちらとも いえない 4.27%	あまりそう 思わない 1.71%	そう思わない 0.85%	117	17
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.80	83.19%	14.29%	1.68%	0.84%	0.00%	119	15
6	教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか	4.71	81.20%	12.82%	3.42%	0.85%	1.71%	117	17
7	板書や視聴覚教材の利用は適切でしたか	4.67	78.45%	12.07%	8.62%	0.00%	0.86%	116	18
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.71	81.51%	9.24%	8.40%	0.00%	0.84%	119	15
9	学生から質問や発言しやすい雰囲気でしたか	4.71	79.83%	15.97%	0.84%	2.52%	0.84%	119	15
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.73	82.35%	13.45%	0.84%	1.68%	1.68%	119	15
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.76	83.19%	12.61%	2.52%	0.00%	1.68%	119	15
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.82	86.44%	10.17%	2.54%	0.85%	0.00%	118	16
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.69	77.31%	16.81%	4.20%	0.84%	0.84%	119	15

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.63	そう思う 78.36%	ややそう思う 13.43%	どちらとも いえない 3.73%	あまりそう 思わない 2.24%	そう思わない 2.24%	134	0



資料3：卒業時満足度調査結果

2019年度 卒業時満足度調査

洗足学園音楽大学

1

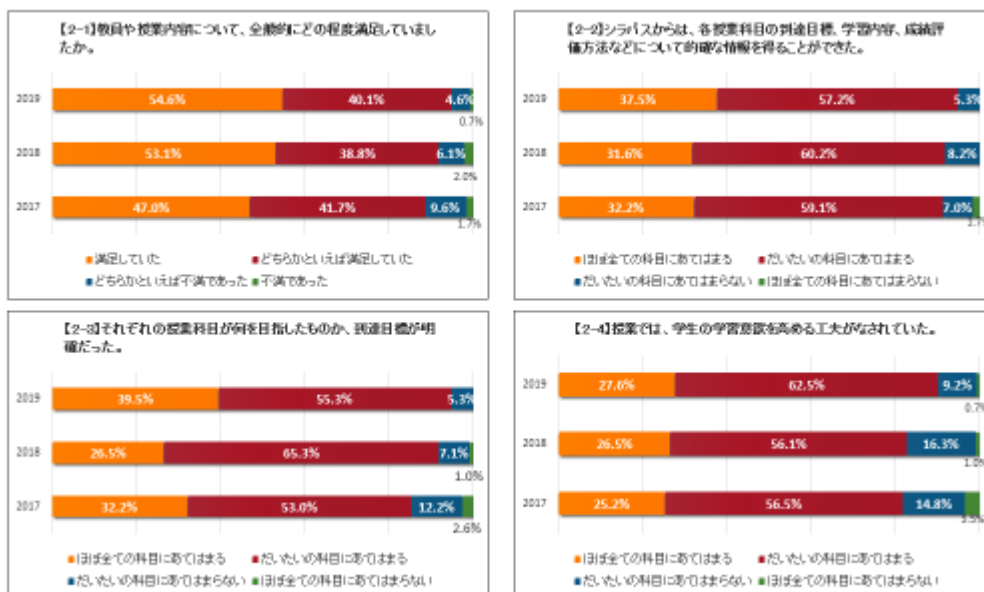
調査概要

調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2020年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2020年1月6日（月）～3月18日（水）
所要時間	10分弱
質問数	26問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って
回答率	32.3%（対象者数：470名、回答者数：152名）

2019年度卒業時満足度調査

2

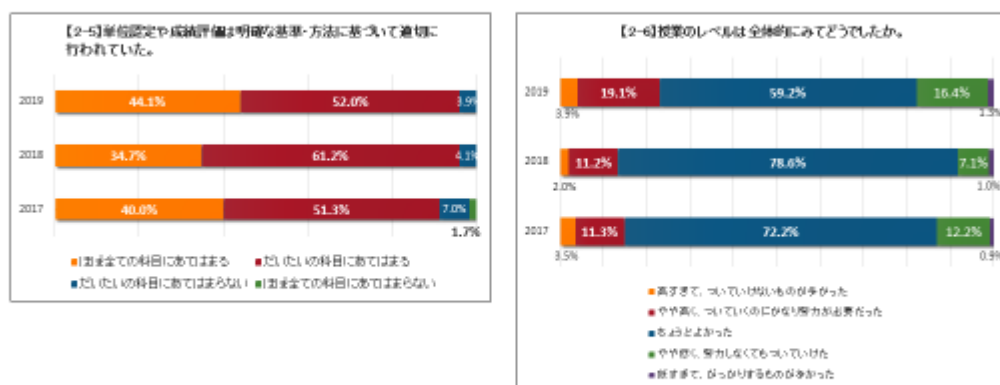
【教員や授業についての満足度】



2019年度卒業時満足度調査

3

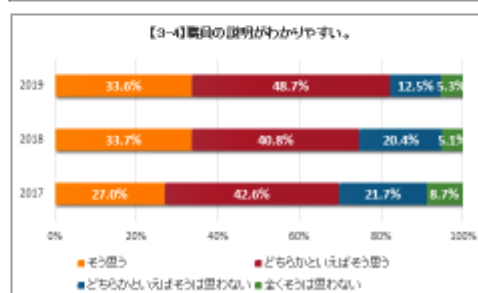
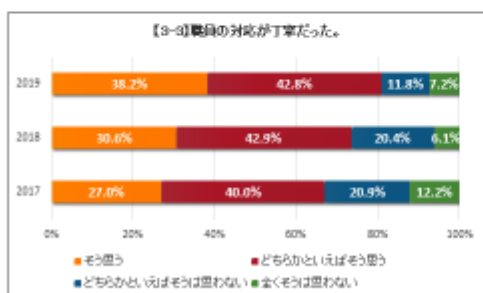
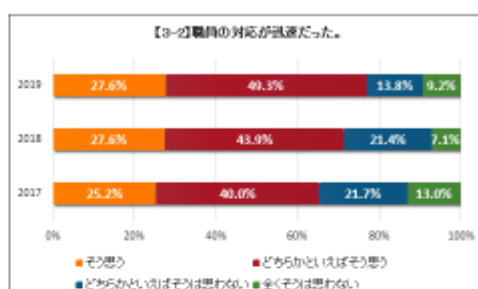
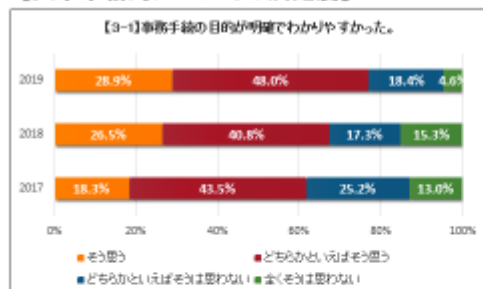
【教員や授業についての満足度】



2019年度卒業時満足度調査

4

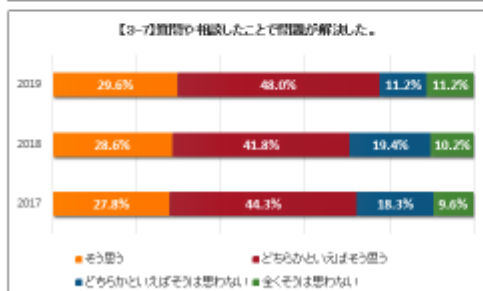
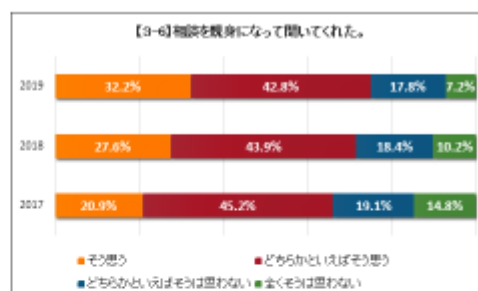
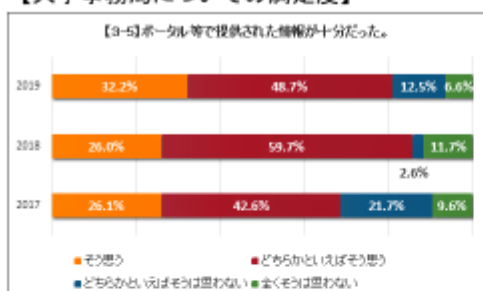
【大学事務局についての満足度】



2019年度卒業時満足度調査

5

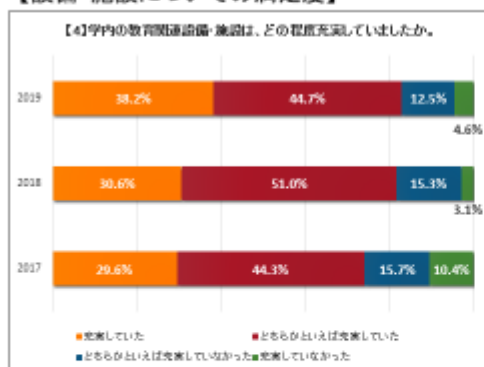
【大学事務局についての満足度】



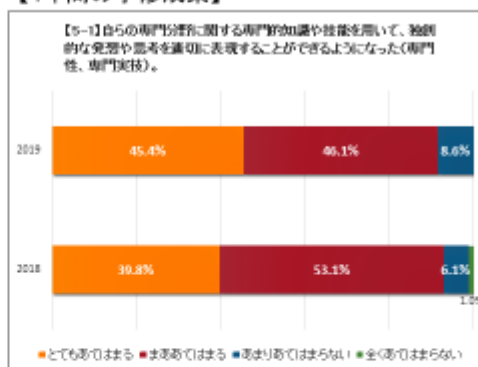
2019年度卒業時満足度調査

6

【設備・施設についての満足度】



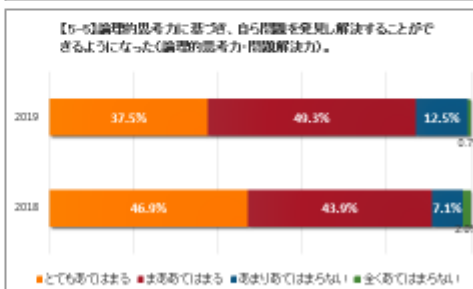
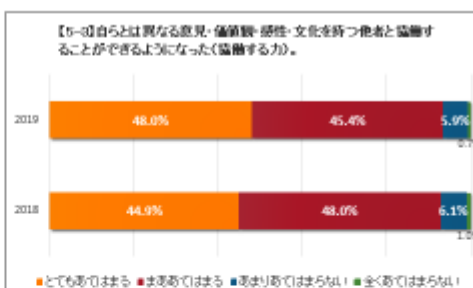
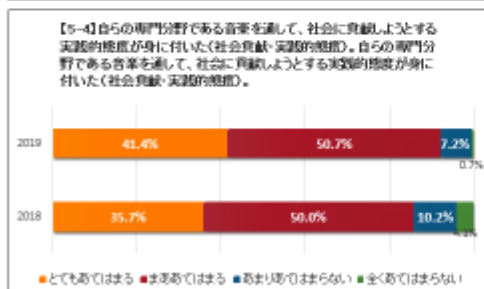
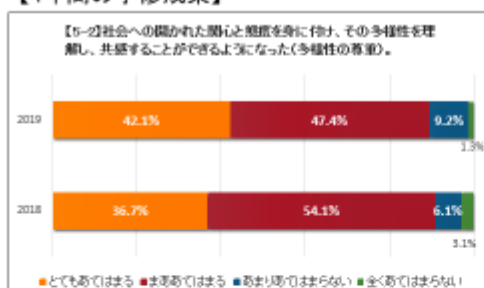
【4年間の学修成果】



2019年度卒業時満足度調査

7

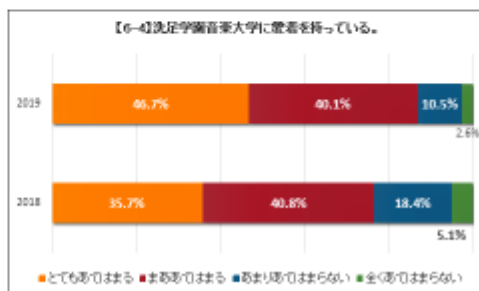
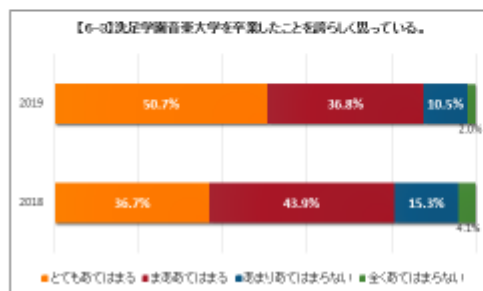
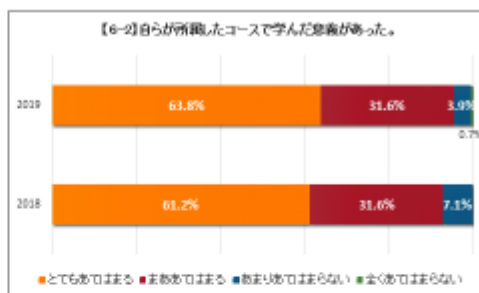
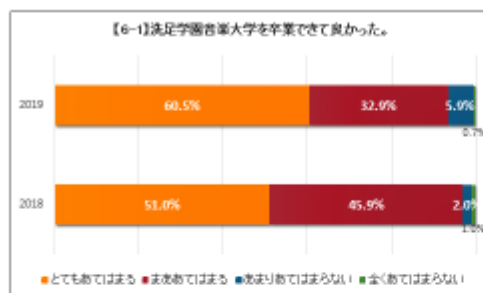
【4年間の学修成果】



2019年度卒業時満足度調査

8

【大学生活全般】



2019年度卒業時満足度調査

9

【大学生活全般】

【6-5】4年間の学生生活の総合的な満足度(10点法)

(単位:人)



2019年度卒業時満足度調査

10